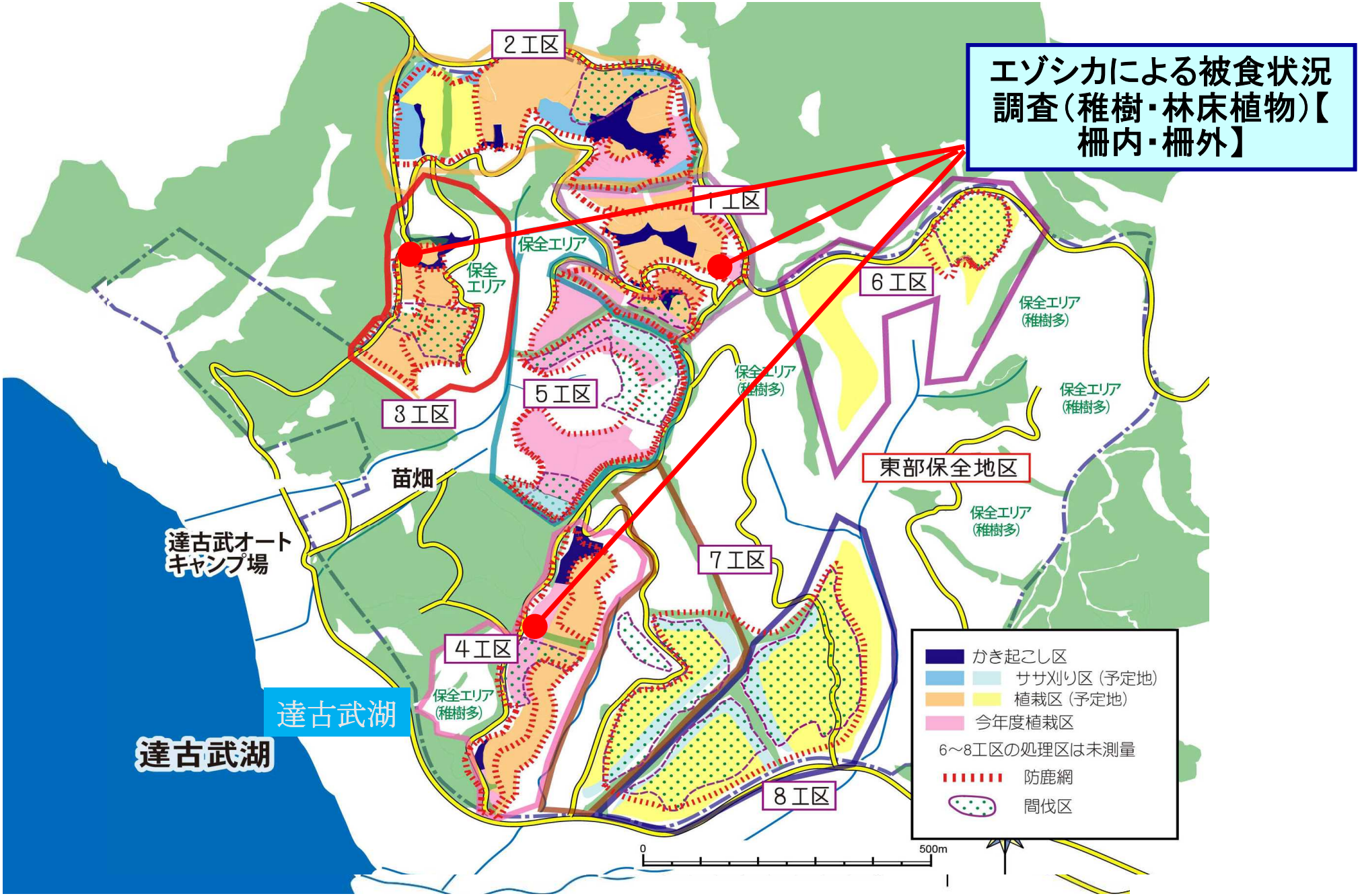
平成31年度達古武地域自然再生事業におけるエゾシカ調査報告

参考資料３



■エゾシカによる稚樹の被食状況①

調査目的

- シカ捕獲の効果検証、柵外での被食増加の検証

対象手法

- 6エリアで柵外に生育する天然更新している稚樹を調査。

調査稚樹

樹種	調査本数
アオダモ	48
ミズナラ	27
サワシバ	15
イタヤカエデ	13
オオモミジ	13
ヤチダモ	13
ミヤマザクラ	11
ヤマグワ	10
	：
計	189

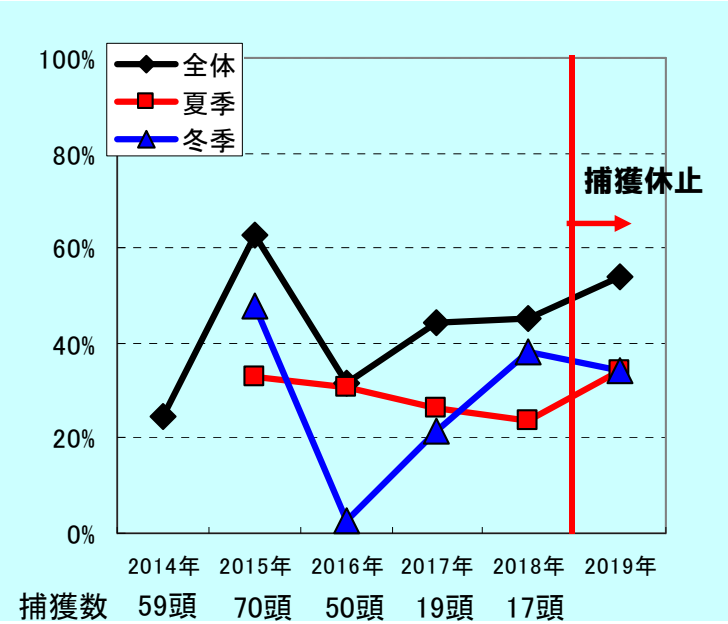
調査ライン

アオダモ食痕

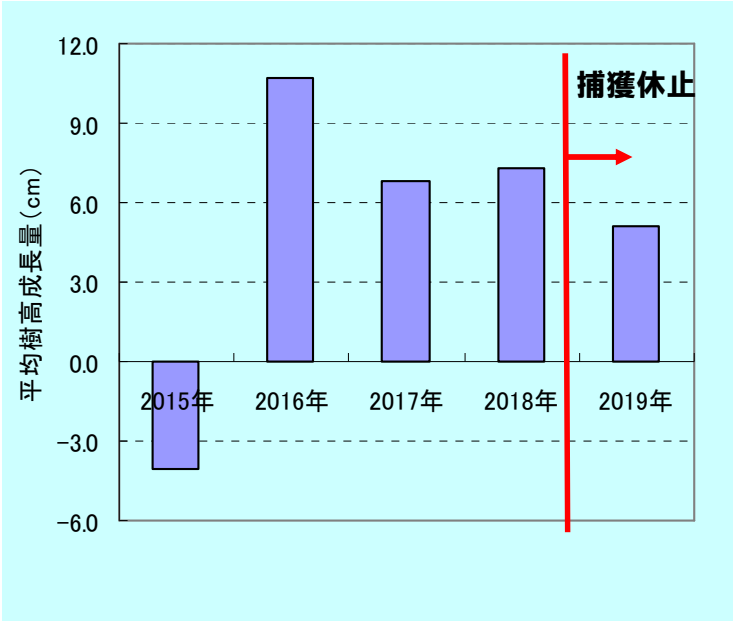
ヤマグワ食痕

■エゾシカによる稚樹の被食状況②

新規食痕の割合



平均樹高成長量



樹種別の食痕率・成長量

樹種	平均樹高成長量（cm）	食痕率
アオダモ	4.1	60%
ヤマグワ	3.0	83%
ミズナラ	9.9	23%
イタヤカエデ	1.2	40%
オオモミジ	1.3	36%
サワシバ	−1.7	93%
ヤチダモ	7.6	23%
ミヤマザクラ	−1.7	64%

調査結果

- 全体食痕率は増加傾向。夏季食痕率も増加に転じる。
  （通年利用個体が増加？）
- 樹高成長はプラスを維持も調査区によってはほぼ横ばい。
- 樹種で異なる傾向が顕著に。

方針

- 樹高成長は続いているが、被食の影響が増加しており、達古武地区での捕獲休止による影響を引き続き注視していく。

■エゾシカによる林床植物の被食状況①

調査目的

- シカ捕獲の効果検証、柵外での被食増加の検証。

対象手法

- 19区間で柵外に生育する林床植物20種を調査。一部区間で柵内と比較。開花期(6・8月)に実施。

調査対象植物

種名	開花茎数
ヤマブキショウマ	1579
オトコエシ	495
チシマアザミ	214
ヨブスマソウ	186
アキカラマツ	150
ウド	114
サラシナショウマ	101
エゾノヨロイグサ	45
	：
計	3349

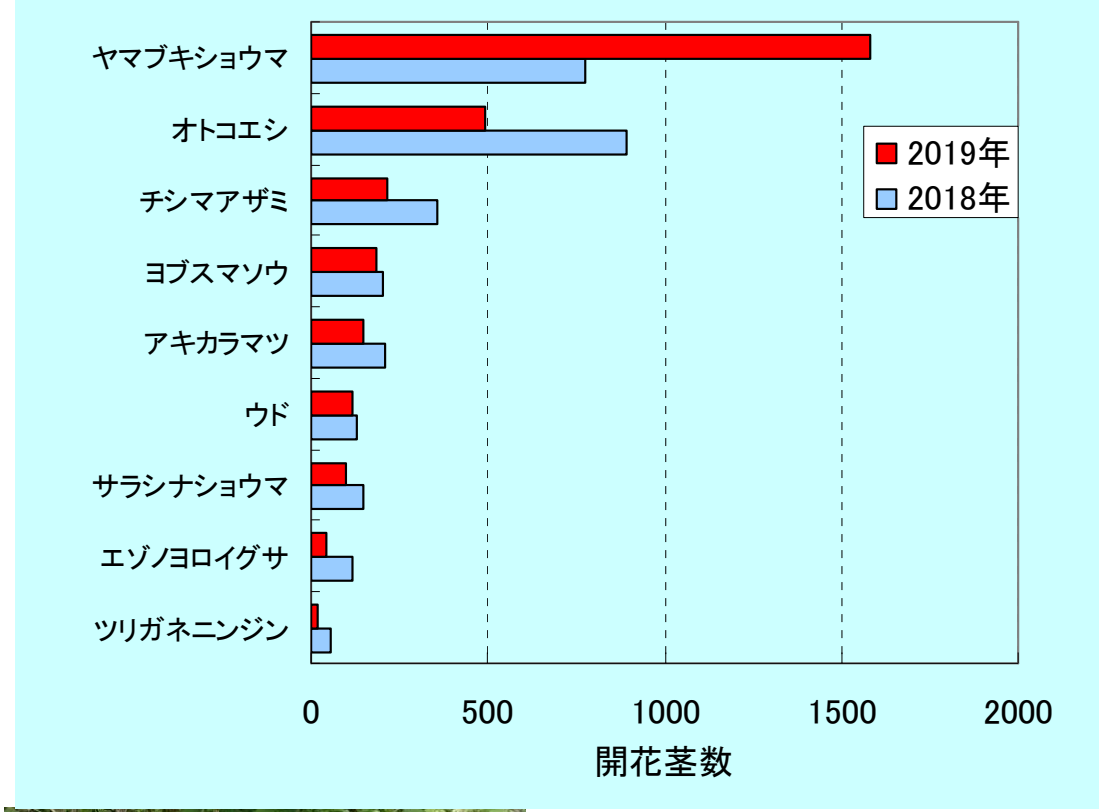
ヤマブキショウマ

オトコエシ（食痕）

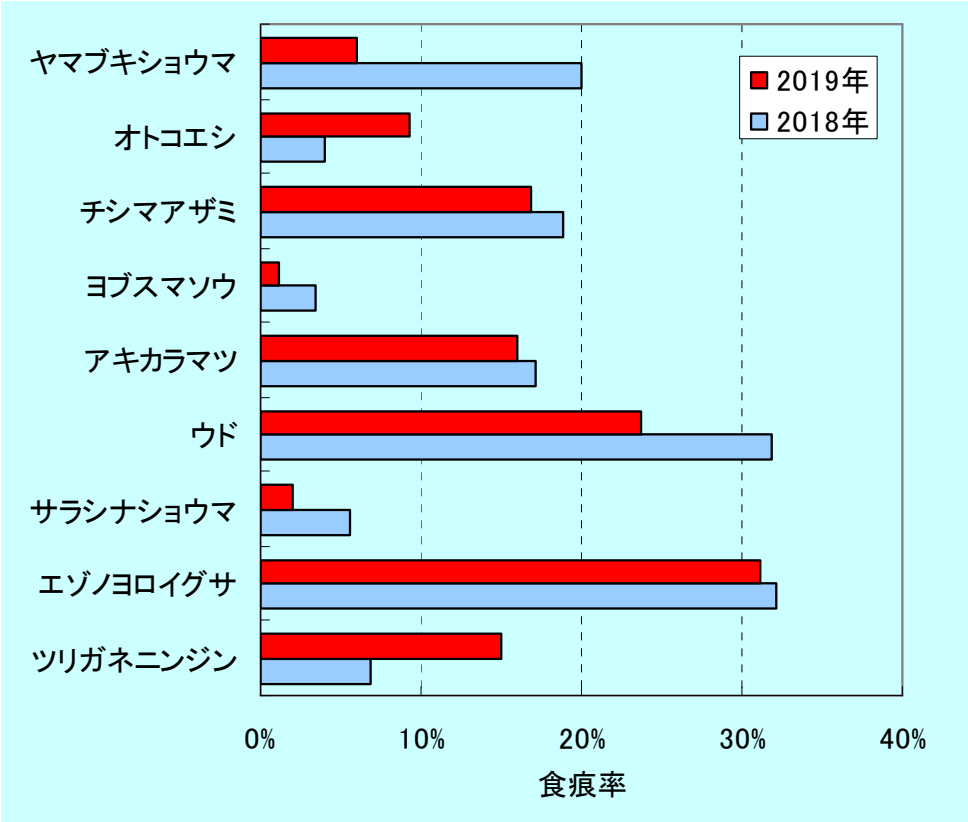
サラシナショウマ

■エゾシカによる林床植物の被食状況②

主要林床草本の開花茎数の変化



2018−2019の食痕率の変化



調査結果

- 各種の開花茎数はヤマブキショウマを除いて前年より減少。気候や生態的特徴による変動の影響も考えられる。